

带状疱疹予防接種を受けられる方へ

■带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

■対象者

(1) 令和8年度中に、*65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方で带状疱疹の予防接種を希望する町民。

※必ず対象者生年月日を見て確認してください。

(2) 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方で、带状疱疹の予防接種を希望する町民。

★令和8年度対象者生年月日

年齢区分	生年月日	年齢区分	生年月日
65歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生	85歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生
70歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生	90歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生
75歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生	95歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生
80歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生	100歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日生

※注意: 令和8年度対象者の方が定期接種で接種できるのは今年度限りです。

■費用 生ワクチン: 4,000円 組換え(不活化)ワクチン: 10,000円(1回あたり)

自己負担金免除対象者(①生活保護世帯 ②町民税非課税世帯)の方は無料です。左記①②に該当される方は、「保健事業等自己負担金免除カード」と同封の接種券を持って医療機関(向日市、長岡京市、大山崎町の委託医療機関に限りまず)を受診してください。

「保健事業等自己負担金免除カード」をお持ちでない方は、役場1階5番窓口で事前に申請してください。申請時には、本人確認できる身分証(顔写真付きであれば1点、顔写真がない場合は2点)を持参してください。

※接種後の還付は実施しません。必ず接種前に申請してください。

■実施期間 令和8年6月1日～令和9年3月31日

■接種場所

(1) 向日市、長岡京市、大山崎町の委託医療機関(医療機関名簿を確認してください。)

委託医療機関に事前に予約をし、受けてください。

予診票は、医療機関に設置しています。

(2) 向日市、長岡京市、大山崎町以外の京都府内委託医療機関

・予診票は、役場1階5番窓口で発行します。接種券をご持参の上、発行手続きをしてください。

・予診票発行手続きを行った後、委託医療機関に予約をし、予防接種を受けてください。

■带状疱疹予防ワクチンについて

带状疱疹ワクチンには生ワクチン(阪大微研:乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)、組換え(不活化)ワクチン(GSK社:シングリックス)の2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

なお、定期接種において带状疱疹予防ワクチンが接種できるのは、生涯1度(定められた規定回数)のみです。

	生ワクチン(阪大微研)	組換え(不活化)ワクチン(GSK社)
接種回数(接種方法)	1回(皮下に接種)	2回(筋肉内に接種)
接種スケジュール	—	通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種出来ません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

※裏面もよくお読みください。

その他に、接種前に発熱を呈している方、重篤な急性疾患に罹っている方、それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方等はいずれのワクチンも接種出来ません。

また、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方、けいれんを起こしたことがある方、免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方、带状疱疹ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方等はいずれのワクチンについても接種に注意が必要です。

■ 带状疱疹ワクチンの効果

		生ワクチン(阪大微研)	組換え(不活化)ワクチン(GSK社)
带状疱疹に対するワクチンの効果	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後10年時点	—	7割以上の予防効果

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

■ 带状疱疹ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換え(不活化)ワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

健康被害が起こった場合は、予防接種健康被害救済制度があります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	組換え(不活化)ワクチン(GSK社)
70%以上	—	疼痛
30%以上	発赤	発赤、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感、熱感、腫脹、疼痛、硬結	頭痛、腫脹、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感、倦怠感、その他の疼痛

■ 他のワクチンとの接種間隔

いずれの带状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン(阪大微研)については、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

■ 予防接種を受けることができない方

- ①明らかに発熱(通常 37.5° C 以上)がある方
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかである方
- ③過去に带状疱疹ワクチンの成分によって、アナフィラキシー(接種後約 30 分以内に起こる呼吸困難などのひどいアレルギー反応)を起こしたことがある方
- ④【生ワクチン接種希望の方】先天および後天性免疫不全、または免疫抑制状態の方
- ⑤ その他、医師が不適当な状態と判断した方

■ 予防接種を受ける前に医師への相談が必要な方

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患がある方
- ②予防接種後2日以内に発熱したことがある方、または全身性発疹などのアレルギーを疑う症状になったことがある方
- ③带状疱疹ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれがある方
- ④過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤過去に免疫不全の診断を受けている方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑥【組換え(不活化)ワクチン接種希望の方】血小板が少ない方、または出血しやすい方

■ 接種後の注意点

ワクチンの接種後30分は安静にしてください。また、体調に異常を感じた際は、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部位は、清潔を保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。当日の激しい運動は控えるようにしてください。

接種券は、大山崎町に住民票のある方しか使えません。
 転出された場合は、転出先の市町村にお問い合わせください。
 ※接種後、医療機関窓口で「高齢者の带状疱疹予防接種済証」をお受け取りください。

【お問い合わせ】 大山崎町役場 健康課 健康増進係 ☎ 075-956-2101